

桑くわぶくろ袋ビオトープ公園

小学校のカリキュラム別 環境教育・環境学習プランのご案内



はじめに ……………	1
団体利用の申し込みから実施までの流れ ……………	2
プログラムの提案とプログラムの目的 ……………	3
授業内容にあったプログラムの探し方 ……………	4
時間割と環境学習プログラムの対応表 ……………	5
プログラム集（24事例） ……………	6
施設概要 ……………	18
利用案内 ……………	19
団体利用の申し込み書 ……………	20

はじめに

もともとあった足立の自然の姿をとりもどそうと、桑袋小学校の跡地に桑袋ビオトープ公園がつけられました。この公園の周囲を流れる綾瀬川は水質が日本一悪いとされてきたため、水質改善のため桑袋浄化施設も併設されています。園内の情報発信施設である「あやせ川清流館」には自然解説員（インタープリター）が常駐し、水質浄化や生態系をテーマとした展示や印刷物を作成したり、来園者の皆様にさまざまな自然体験プログラムを提供しています。

開園以来、来園していただいた先生方からは、この公園や環境教育に対して関心を持っており、今後、活用したいという声をいただいています。その一方で環境教育を学校教育のカリキュラムにどのように組み込めばよいのか戸惑いを感じる先生方が多いこともわかりました。

そこで桑袋ビオトープ公園では先生方をサポートできるような環境教育・環境学習プランをご用意しました。このプログラムは、総合的学習の時間に限ることではなく、国語、社会、算数、理科、生活、道徳、特別活動など、さまざまな授業・学年で利用していただけるように、教科別・発達段階別にプログラムをまとめました。また、本書後半には具体的なプログラム集を24種類収録し、環境教育・環境学習に重要になる「ねらい」をわかりやすくまとめました。

この手引きを活用していただき、すこしでも環境教育を学校教育に組み込むお手伝いができればと願っています。また、本書はこれで完成ということではなく、みなさまの声をもとによりよい手引き書へと改善を重ねていきたいと考えています。興味や疑問、意見などがありましたら是非、当公園までご連絡いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

解説員一同、みなさまのご来園・ご利用をお待ちしております。

桑袋ビオトープ公園 自然解説員一同

団体利用の申し込みから実施までの流れ

利用方法には希望や状況に応じて2種類あります。原則として実施予定日の40日前までにお申し込みください。

① 自然解説員が環境学習プログラムをおこなう

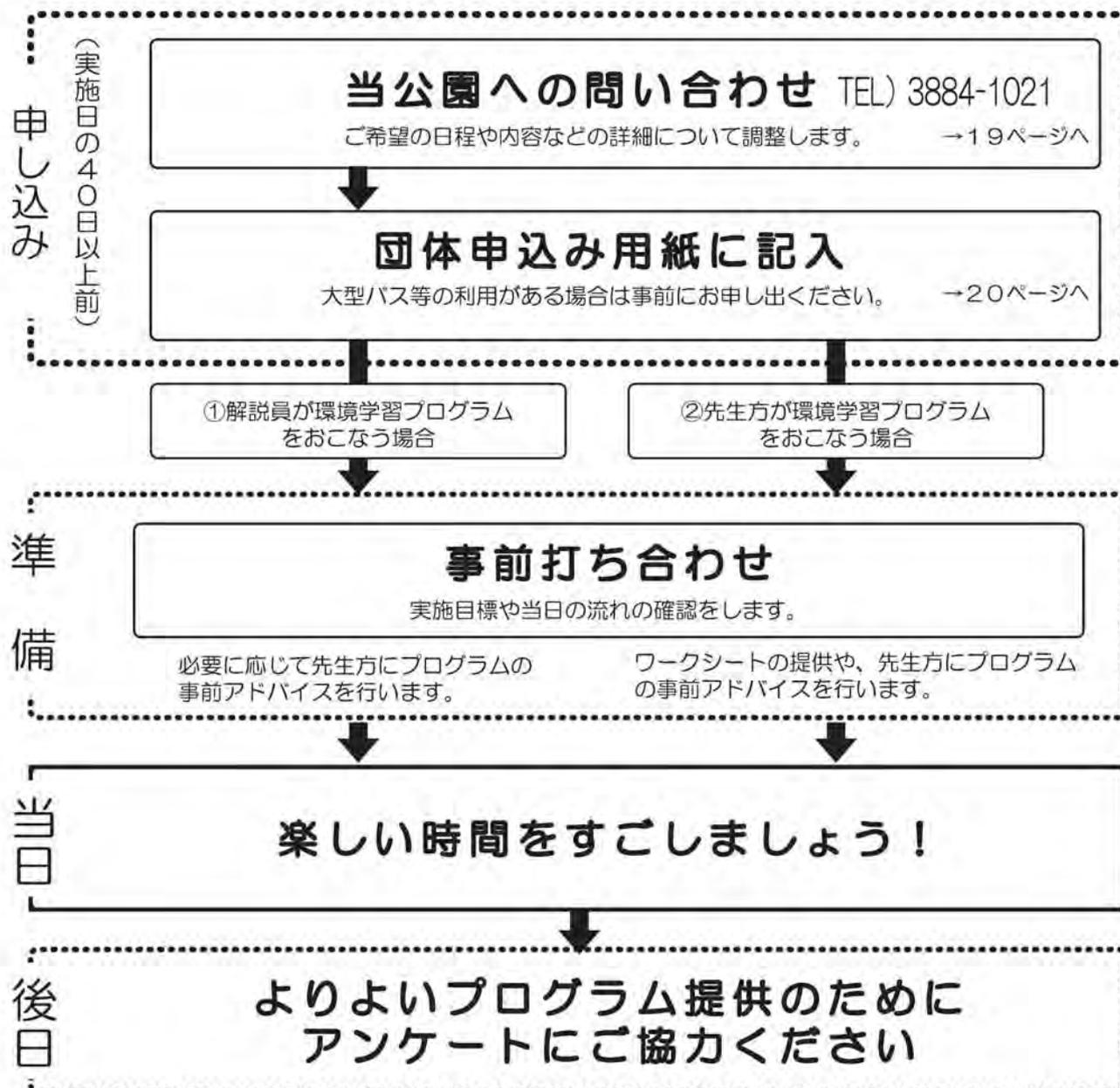
- ・ 桑袋ビオトープ公園の自然解説員がプログラムを実施します。
- ・ 本プログラム集のほか、学習テーマに応じたプログラムをご提案します。
- ・ 効果的な学習にするため必要に応じて先生方へ事前アドバイスをを行います。

② 先生方が環境学習プログラムをおこなう

- ・ 内容に応じてワークシートの提供や道具を貸し出します。
- ・ 効果的な学習にするため、引率者への事前研修を行います。

ビオトープ公園のプログラムを利用してみたい！

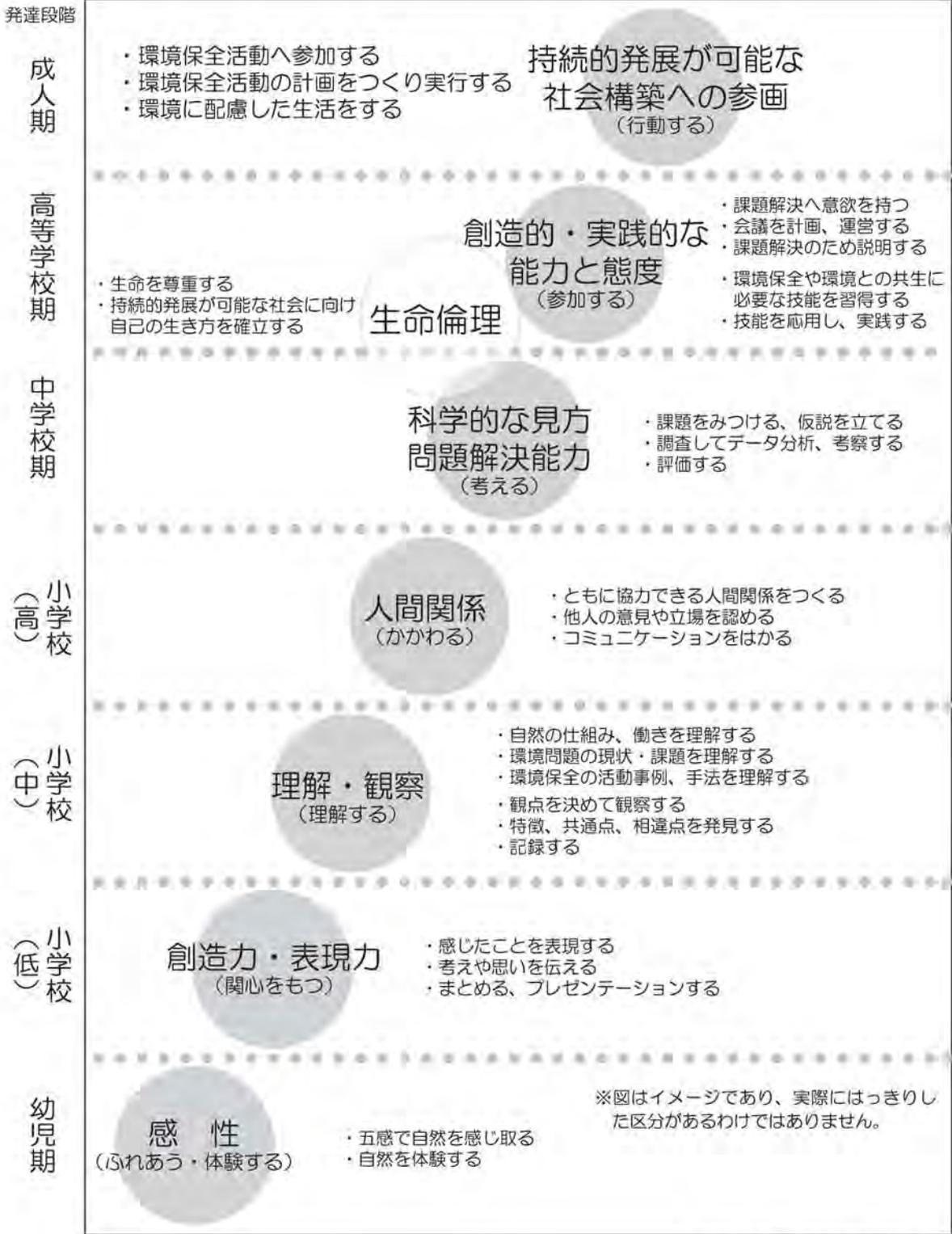
このプログラム集をよく見てイメージを作ろう。掲載以外のプログラムも実施できるので相談してください。



プログラムの提案とプログラムの目的

環境教育プログラムの目的を達成するためには、やみくもにプログラムを実施するのではなく、幼児期から大人まで発育段階に即した達成目標を設定することが重要です。学校教育の中でも発育段階にあわせて達成目標をたて、環境教育のプランを立てられるかどうか大きなポイントです。

環境教育・環境学習において発達段階ごとに培いたい資質・能力など



環境教育・環境学習の目指す姿

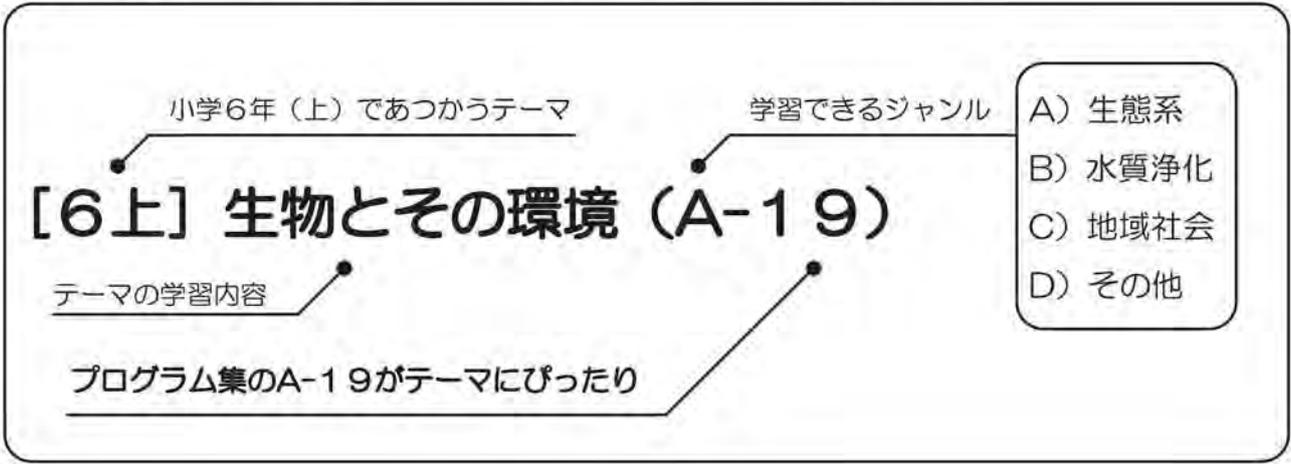
授業内容にあったプログラムの探し方

学校のカリキュラムに即した環境学習プログラムをご提案します。いざ授業に環境学習を取り入れたいと考えても、いつ、どのように活用したらよいかかわからず、つい時期を逃してしまうといった声をよく耳にします。そこで本プログラム集では、小学校のカリキュラムに即してプログラムを選べるように工夫しました。各教科・科目を環境学習として発展させるためにご活用ください。

	低学年：創造力・表現力（関心をもつ）	中学年：理解（理解する・観察力）	高学年：人間関係（かかわる）	
各教科	国語	[2上下] 自然のすばらしさや不思議さ（1～11）	[3上/4上]（12～16）	[5下・5下] 環境を守ることの大切さ（17～24）
	社会		[3・4下] 飲料水の確保（B-17、B-18） [3・4下] 廃棄物の処理（B-17、B-18） [3・4上下] 地域の人々の生産と販売 [3・4上] 電気・ガスの確保	[5下] 森林資源の働き（B-18） [5下] 公害（B-17、B-18、B-21～24） [5上] わが国の工業生産、公害（B-17、B-18、B-21～24） [5上] わが国の農業 [5上] わが国の水産業
	算数			
	理科		[3・4] 身近な動植物の飼育、栽培（A 15、A 16） [4下] 水の状態変化 [4下] 空気の性質 [4下] 光電池の働き	植物、魚、動物の飼育・栽培、観察（A 19～21） [5上] 植物の成長（B 21） [6上] 生物とその環境（A 19、A 20、B 21） [5上] 流れる水の働き [5上] 天気の変化 [5下・6下] 水溶液の性質や働き [6下] 電磁石の変化や働き
	生活	[上下] 自然を利用した遊び（1～11） [上下] 動物、植物の教材（1～11）		
	音楽			
	図画工作	(D-1、A-2、A-3、A-4、A-7、A-9、A-13、D-14)		
	家庭			近隣の人々との生活（B 17～18、B 21～24）
	体育		健康に良い生活の仕方	
	道徳	自然愛、動植物愛護（A-5、D-6） 物や金銭を大切に	自然愛、動植物愛護（A-12～A-16）	自然愛、環境保護（17～24）
	特別活動		自然体験活動、動物の飼育（A-15、A-16） 地域の美化活動（B-17、B-18、B-23、B-24）	
	総合的な学習		川の探検、調査（A-16、B-17、B-18） 地域環境調査（A-15、A-16）	地域環境調査（17～24）
	その他	水辺での遊び		

参考資料：「環境学習―指導者向けプログラム集（CD-ROM）」環境省

例) 高学年の理科で「生物とその環境」をテーマに学びたい場合



時間割と環境学習プログラムの対応表

対象	番号	教科	タイトル	季節	時間	内容
低学年 関心をもつ	D-1	生活	土で絵を描こう	通年	60分	採取した土で絵の具を作り、絵を描いてみる。
	A-2	生活	いろいろ種あそび	秋～冬	60分	タネや木の実を集めて、アクセサリや小物を作る。
	A-3	生活	落ち葉でアート	秋～冬	60分	色や形の違う落ち葉を集めて、絵を描いたり、模様をつけて遊ぶ。
	A-4	生活	どんぐりクラフト	秋	90分	どんぐりを集めて、コマやヤジロペイなどを作り遊ぶ。
	A-5	生活	ハードウォッチング～都会の野鳥たち	通年	60分	身近な場所に暮らす野鳥を観察する。
	D-6	生活	冬芽さがし	冬	60分	さまざまな形の冬芽を観察する中で、季節による植物の姿を知る。
	D-7	生活	草花ステンシル	春～秋	40分	草花を画用紙にこすりだして、自然の色を楽しむ。
	A-8	生活	自然発見ビンゴ	通年	60分	野外で行うビンゴを通して、自然にあるいろいろなものを自ら発見する。
	A-9	生活	植物スタンプ	春～秋	60分	身近な植物の茎や実を使って、染料を作り遊ぶ。
	D-10	国語	エコカルタ遊び	春～冬	60分	野外でみつけた素材をもとにオリジナルカルタを作り、遊ぶ。
	A-11	国語	自然かんさつ こんなみつけたよ!	通年	60分	園内にいる生き物を探し、発表し合う。
中学年 理解する	A-12	理科	野草さがし	春～夏	45分	解説員から出されるクイズを通して季節の野草を観察する。
	A-13	理科	野草観察と押し花づくり	春～夏	90分	野草観察後、観察した野草を保存する方法を学び、観察記録をつける。
	D-14	理科	めざせ!ぬりえマスター	春～秋	60分	ぬりえを使って、植物の色や形を観察する。
	A-15	理科	ｽﾗｲﾄﾞ「ピオﾄｰﾌﾞ公園の生き物」	通年	30分	季節によって移り変わるピオﾄｰﾌﾞ公園の生き物を、ｽﾗｲﾄﾞで紹介する。
	A-16	理科	ｽﾗｲﾄﾞ「ピオﾄｰﾌﾞ公園の生き物＋周辺観察」	通年	90分	ｽﾗｲﾄﾞ後、周辺でみられる生き物を観察する。
	高学年 関わる	B-17	社会	リサイクル石鹸づくり	通年	90分
B-18		社会	ペットボトルで水質浄化	通年	90分	簡易浄水器を作り、生活に欠かせない水の利用について考える。
A-19		理科	ハードウォッチング～環境別鳥見ハイク	通年	60分	水辺や樹木など、環境の違う場所に集まる野鳥を観察する。
A-20		理科	のぞいてみよう土の中	通年	60分	土の中で暮らす生き物を調べ、土壌生物の役割について知る。
B-21		理科	ピオﾄｰﾌﾞと浄化施設のガイドウォーク	通年	45分	園内に来る生き物や浄化施設の概要など、園内を歩いて紹介する。
B-22		理科	綾瀬川の水しらべ(化学編)	通年	90分	透視度やバックテストを用いて、総合的に水質を調べる。
B-23		理科	ｽﾗｲﾄﾞ「みんなで取り組む綾瀬川」	通年	30分	綾瀬川をきれいにするための取り組みを紹介し、自分たちができる事を考える。
B-24		理科	きれいに守ろう綾瀬川～ゴミから環境を学ぶ	通年	90分	川から流れてくるゴミを調べ、河川敷のゴミを拾うことで、問題解決に向けて自ら行動する。

D-1) 土で絵を描こう

ねらい

自然環境の構成要素の一つである「土」について理解を深め、その多様性と重要性に気づく。

内容

様々な地域の風景の写真を見ると、土の影響によって地域の景観の特長に大きく影響していることがわかる。桑袋ビオトープ公園の土は、どんな色をしているのかイメージした後、実物をみて確認する。あらかじめ準備しておいた数種類の土で絵の具を作り、絵を描いて、作品を仕上げる。



参加者持参 絵の具セット、水さし、タオル、画板（大）

時間 60分

場所 館内

人数 35人／解説員2人

季節 通年

A-2) いろいろ種遊び

ねらい

植物の種子の形の多様性、面白さに気づく。

内容

種の形をイメージし、どんな形があるか意見を出し合う。「種は旅をする」をキーワードに園内やその周辺を歩き、様々な種を探す。みつけた種を館内へ持ち帰る。風で運ばれる種、水で運ばれる種、くっつく種、はじける種など、種の特徴をいかした遊びを考え、実践する。

種遊びの例

綿毛あそび、カエデの落下傘、オナモミキャッチボール、アクセサリーや小物づくりなど



参加者持参 軍手、うちわ

時間 60分

場所 園内とその周辺、館内

人数 35人／解説員2人

季節 秋～冬

A-3) 落ち葉でアート

ねらい

落ち葉を使った作品作りを通して、身近な自然のもつ面白さに気づく。

内容

園内に落ちている落ち葉を使って作品を作ることを伝える。色や形など、様々な落ち葉を紹介し、自然素材のおもしろさに興味を引き付けられるように促す。園内を散策し、お気に入りの落ち葉を館内へ持ち帰る。持ち帰った落ち葉を素材として、切れ込みや色付けなど、さまざまな工夫をして葉の形や色を活かした作品を作る。



参加者持参 鉛筆、はさみ、のり

引率者持参 ポスカ

時間 60分

場所 園内、館内

人数 35人／解説員2人

季節 秋～冬

A-4) どんぐりクラフト

ねらい

自然にある素材で遊ぶことを通して、自然素材の面白さを感じる感性を養うことをきっかけとする。

内容

どんぐりが実るマテバシイとコナラの木を紹介し、生えている場所へ出かける。園内周辺に生えるマテバシイと、園内に生えるコナラの違いを見分けるため、樹皮の模様を紙にこすりだしたり、葉に触れたりしながら、その違いを感じとる。落ちているどんぐりを集め、館内に持ち帰る。持ち帰ったどんぐりにキリで穴をあけ、コマやネックレスを作成する。



参加者持参 なし

引率者持参 きり

時間 90分

場所 園内とその周辺、館内

人数 35人／解説員2人

季節 秋

A-5) バードウォッチング～都会の野鳥たち～

ねらい

身近に棲息する生き物の多様性に興味を持つきっかけとなる。

内 容

身近にいる野鳥の数をイメージする。園内やその周辺でみられる野鳥をスライドで紹介する。意識して探すとたくさんの野鳥がみられることを伝え、バードウォッチングに出かける。双眼鏡は使わず、目視で探すことを楽しむ。みられた野鳥を振り返り、家の周辺では何種類みつかるか探してみるように伝える。



参加者持参 なし

時 間 60分

場 所 園内とその周辺、館内

人 数 35人／解説員2人

季 節 通年

D-6) 冬芽さがし

ねらい

季節の変化を感じる豊かな感性を養う。

内 容

木々の枝の先をよくみると、小さな冬芽が膨らんでいるのがわかる。さらに観察を続けると、いろんな模様があり、面白い顔のように見えてくる。木の種類によって全く違う冬芽の表情を観察する中で、季節のうつろいによって変化する植物の姿にきづくことができる。



参加者持参 ルーペ（虫眼鏡）

時 間 60分

場 所 園内

人 数 35人／解説員2人

季 節 冬

D-7) 草花ステんシル

ねらい

自然に対する感性を豊かにし、自然の豊かさに気づく心の発達を促す。

内 容

園内でみつける自然の色をイメージして、色鉛筆で表現する。イメージした色を表現できたら、その色を探しに園内へ出かける。各自散らばって、イメージした色の草花を探す。見つけた草花を、画用紙の上に擦り出し現れた色を楽しむ。できた作品を各自紹介してもらい、感想を聞く。植物の多様な色や、季節の変化によって移り変わる色に目を向けてほしいと伝える。



参加者持参 色鉛筆、画板

時 間 60分

場 所 園内、館内

人 数 35人／解説員2人

季 節 春～秋

A-8) 自然発見ビンゴ

ねらい

身近にある自然なものを違った視点から探すことで、自然の見方を深めるきっかけとなる。

内 容

自然なものといったら何がイメージできるか問いかけることで、参加者の自然に対するイメージを引き出す。自然を再発見できるクイズ、自然発見ビンゴを行うことを告げ、ルールの説明をする。

クイズの説明

①ワークシートに書かれた9つの四角いマスの中に、1から9の数字を自由に入れること。

②クイズは9問あり、園内を散策しながら不意に出題する。このため、かたまって行動すること。

③答えが正解の場合、スタンプをもらえる。スタンプを多く集めビンゴを完成させること。

クイズは、様々な感覚を使って解く問題を出題する。クイズ実施後、目で得られる情報だけに頼らず、他の感覚（臭ぐ、聞く、感じる、触れる）も研ぎ澄まして自然観察をしてほしいと伝える。



参加者持参 筆記用具、画板

時 間 60分

場 所 園内

人 数 35人／解説員2人

季 節 通年

A-9) 植物スタンプ

ねらい

植物がもつ形や色の巧妙さや繊細さに気づくことを通して、自然の不思議を感じる感性を養う。

内容

写真をみせながら、植物の茎の断面には、面白い形があることを伝え、興味を引き付ける。面白い断面の植物を探しにでかけることを伝え、園内へ出かける。みつかった植物を館内に持ち帰る。絵の具をつけた茎の断面を、画用紙の上に押し付けて遊ぶ。作成した作品を発表しながら、様々な形があることを共有し合う。

参加者持参 はさみ

時間 60分

場所 園内

人数 35人／解説員2人

季節 春～秋



D-10) エコカルタ遊び

ねらい

周りの環境に目を向ける感性を養うとともに、自分のおもいを表現する力を身につける。

内容

解説員が園内でみつけた自然の様子絵とともに、その時に感じた自分のおもいをカルタとして紹介する。各自でオリジナルカルタを作ってみようと促し、園内へ出かける。園内をかたまって散策する。解説員は、素材をみつけた生徒の気持ちをうまくくみ取り、素直に言葉で表現できるように、生徒の能力を引き出す。

各自絵札とカナ札を完成させ、グループに分かれて遊ぶ。

参加者持参 筆記用具、画板、はさみ、黒のペン

時間 60分

場所 園内、館内

人数 20人／解説員2人

季節 通年



A-1 1) 自然かんさつ こんなのみつけたよ！

ねらい

みつけた生き物を記録することで、生き物の生態的不思議さに気づききっかけとなる。

内容

館内に来るまでに、園内でみられた生き物を参加者に聞く。注意深く探すと、隠れている生き物が簡単にみつかることを伝える。解説員は園内でみつけた生き物（可能であれば、実物をみせる）とともに、その生き物の名前や特徴を紹介する。生き物を見つけ、生き物カード（ワークシート）に記録してみようと促し、園内へ出かける。散策中は、参加者が生き物探しを楽しめるように心がける。できあがった生き物カードをもとに各自発表し、見つかった生き物を共有し合う。

※発展として、みつけた生き物を図鑑で調べ、その他の特徴をより深く知ることができる



参加者持参 筆記用具、画板

時間 60分

場所 園内（状況に合わせて館内も含めることが可能）

人数 35人／解説員2人

季節 通年

A-1 2) 野草さがし

ねらい

身近な自然の豊かさに気づき、自然に対する好奇心の喚起をねらいとする。

内容

周辺に生える野草を素材として、クイズをする事を伝える。園内を散策しながら、草花クイズを出題する。生えている野草は季節毎に変化しており多様性に富む。自分の家の周りや学校などで、身近に生える野草を使った遊びをたくさんして楽しんでほしいと伝える。

- クイズの例
- ・野草の一部が拡大された写真をみせ、正体を探し出す。
 - ・揉むと匂いがする野草を探し出す。
 - ・シルエットのみが書かれている野草を探し出す。など

参加者持参 なし

時間 45分

場所 園内

人数 35人／解説員2人

季節 春～夏



A-1 3) 野草観察と押し花づくり

ねらい

植物を調べる好奇心の発達を促し、植物を観察する力を身につける。

内容

植物観察のポイントを紹介し、しっかり観察する意識を高める。季節の野草を探しに、園内へ出かける。見つけた野草をじっくり観察し、特徴を見つける。さらに、見つけた野草を館内に持ち帰り、押し花として保存する方法を実践する。

参加者持参 筆記用具、画板、はさみ、黒のペン

時間 90分

場所 園内、館内

人数 35人／解説員2人

季節 春～夏



D-1 4) めざせぬりえマスター

ねらい

自然界の色彩の多様さ、微妙な色彩の差異に気づく。

内容

ぬりえを上手に書くコツは、微妙な色彩に気づき、その微妙な色彩を混色によって再現すること。ぬりえのコツをつかむ練習をする中で、参加者は身の回りの色彩に対して敏感になる。その後、実際に画板、色鉛筆を持って園内へ出て、実物を観察しながらぬりえを行う。

参加者持参 色鉛筆、

時間 60分

場所 園内

人数 35人／解説員2人

季節 春～秋



A-15) スライド「ビオトープ公園の生き物たち」

ねらい

身近な自然の豊かさに気づき、自然に対する好奇心を高めるきっかけとなる。

内容

季節によって移り変わるビオトープの生き物をスライドで紹介する。紹介した以外にも多くの生き物たちが園内でみられる。この公園も、環境や経年の変化とともに違った生き物が集まってくる。自分の家の周りや学校などでも、身近に暮らしている生き物に注目してほしいと伝える。



参加者持参 なし

時間 30分

場所 館内

人数 35人／解説員1人（部屋のスペースにつき最大35人まで）

季節 通年

A-16) スライド「ビオトープ公園の生き物たち」＋園内散策

ねらい

身近な自然の豊かさに気づき、自然に対する好奇心を高めるきっかけとなる。

内容

季節によって移り変わるビオトープの生き物をスライドで紹介する。紹介した以外にも多くの生き物たちが園内でみられる。この公園も、環境や経年の変化とともに違った生き物が集まってくる。生き物を探しに行こうと促し、園内へ出かける。みられた生き物を振り返り、自分の家の周りや学校などでも、身近に暮らしている生き物に注目してほしいと伝える。



参加者持参 なし

時間 60分

場所 園内、館内

人数 35人／解説員2人

季節 通年

B-17) リサイクル石鹸づくり

ねらい

普段は気にすることの少ない生活廃棄物の行方とその環境負荷に目を向け、より環境負荷の少ないライフスタイルを実践することができる。

内 容

スライド上映やクイズなどで「生活排水が環境に与える影響」や「食用油に関するさまざまな取り組み」について学習する。その後、家庭から出る廃油を使って石鹸づくりをしながら、環境負荷の少ないライフスタイルについて考える。



参加者持参 廃油、牛乳パック 1L×2 ペットボトル

時 間 90分

場 所 園内

人 数 35人／解説員2人

季 節 通年

B-18) ペットボトルで浄水器づくり

ねらい

浄水器づくりを通して、生活排水（雑排水）の原因で起こる環境問題や経済的負担に気づき、より環境負荷の少ないライフスタイルを実践することができる。

内 容

家庭排水が身近な河川環境を汚していることをスライドで紹介したあと、ペットボトルに砂利や炭、土などを詰めて浄水器をつくる。水質浄化の仕組みを知ると同時に浄化の限界に気づき、理解を深める。



参加者持参 ペットボトル、ハサミ、炭、砂利、土、赤玉土

時 間 90分

場 所 園内、館内

人 数 35人／解説員2人

季 節 通年

A-19) バードウォッチング～環境別鳥見ハイク～

ねらい

様々な環境と生き物とのつながりを知ることによって、身近な生態系の豊かさに興味を持つきっかけとなる。

内 容

園内やその周辺でみられる野鳥を、環境別に分けてスライドで紹介する。その後、園内でバードウォッチングをしようと促し、野外に出かける。双眼鏡の使い方を教え、野鳥を探す。環境別にみられた野鳥を振り返り、家の周辺の環境では、どんな野鳥が見つかるか探してみようとする。

参加者持参 なし

時 間 90分

場 所 園内とその周辺、館内

人 数 20人／解説員2人

季 節 通年



A-20) のぞいてみよう土の中

ねらい

生態系を支える基礎は土であり、土に暮らす生き物の多様さが、生態系の豊かさとなることに気づくきっかけとする。

内 容

みんなが知っている土の中にいる生き物（土壌生物）の名前をあげてもらおう。桑袋ビオトープ公園の土の中では、何種類の土壌生物が見つかるかみんなに予想してもらおう。観察する際のポイントを説明した後、園内へ探しに出かける。まとめでは、土壌動物と土の関係から、生態系とのつながりについて考える。

参加者持参 なし

時 間 75分

場 所 園内、館内

人 数 20人／解説員2人

季 節 通年



B-21) ビオトープと浄化施設のガイドウォーク

ねらい

身近に起こっている環境問題に対して問題意識を持ち、自らのライフスタイルや住環境を改善するきっかけとなる。

内 容

ビオトープ公園ができた経緯や役割を、浄化施設や園内を周りながら解説する。浄化施設内に溜まる汚泥や、流れてくるゴミ、汚れている伝右川などを見学し、身近な環境問題として意識してもらうように促す。また、園内のため池で見られる生き物を観察し、生き物の浄化能力について説明する。

※伝えたいねらいによって、解説のアレンジは可能。

参加者持参 なし

時 間 45分

場 所 園内

人 数 35人／解説員2人

季 節 通年



B-22) スライド「みんなで取り組む綾瀬川」

ねらい

身近に起こっている環境問題に対して問題意識を持ち、問題解決に向けた取り組みを実践する力を高める。

内 容

水質汚濁の上位になっている綾瀬川について、源流や河川の様子を写真で見せながら、その原因を説明する。現在、綾瀬川をきれいにするためのプロジェクト、綾瀬川清流ルネッサンスが始動している。国、自治体、地域住民の取り組みを個々に紹介しながら、自分たちができることを考える。

参加者持参 なし

時 間 30分

場 所 館内

人 数 35人／解説員1人

季 節 通年



B-23) 綾瀬川の水しらべ

ねらい

身近に流れる河川の水質をしらべることによって、身近な環境に関心を持たせ、自らの生活スタイルについて考えるきっかけをつくる。

内容

ワークシートを元に、水質汚濁の上位になっている綾瀬川や、園内のため池の水、浄化した水を透視度やパックテストで調べて比較してみる。クイズなどを通して水質汚染と生活との関係について考え、水環境をよくするためには、日々の生活のなかで自分たちが何をすればよいか考えてみる。

参加者持参 なし

時間 90分

場所 園内とその周辺

人数 35人／解説員2人

季節 通年



B-24) きれいに守ろう綾瀬川～ゴミから環境を学ぶ～

ねらい

ゴミを川に捨てることによって起こる悪影響を知り、身近な景観をきれいに守ろうとする意識を高め、自主的に行動できる力を身につける。

内容

綾瀬川や伝右川が汚いと言われている原因を、参加者に挙げてもらう。汚いと言われる原因には、水質・景観・悪臭・透明度など、様々な要因があることがわかる。景観を汚している原因一つ、ゴミ問題に着目して、ゴミ調査することを伝える。園内浄化施設の取水口に溜まるゴミを集め、種類別に分類する。人間が捨てたゴミの多さに気がついてもらい、川をきれいにするために自分たちの手でゴミを拾いに行こうと促す。綾瀬川の河川敷でゴミを拾う。ゴミを拾った場所を眺め、達成感やきれいになった喜びを共有し合う。

参加者持参 なし

時間 90分

場所 園内とその周辺

人数 35人／解説員2人

季節 通年

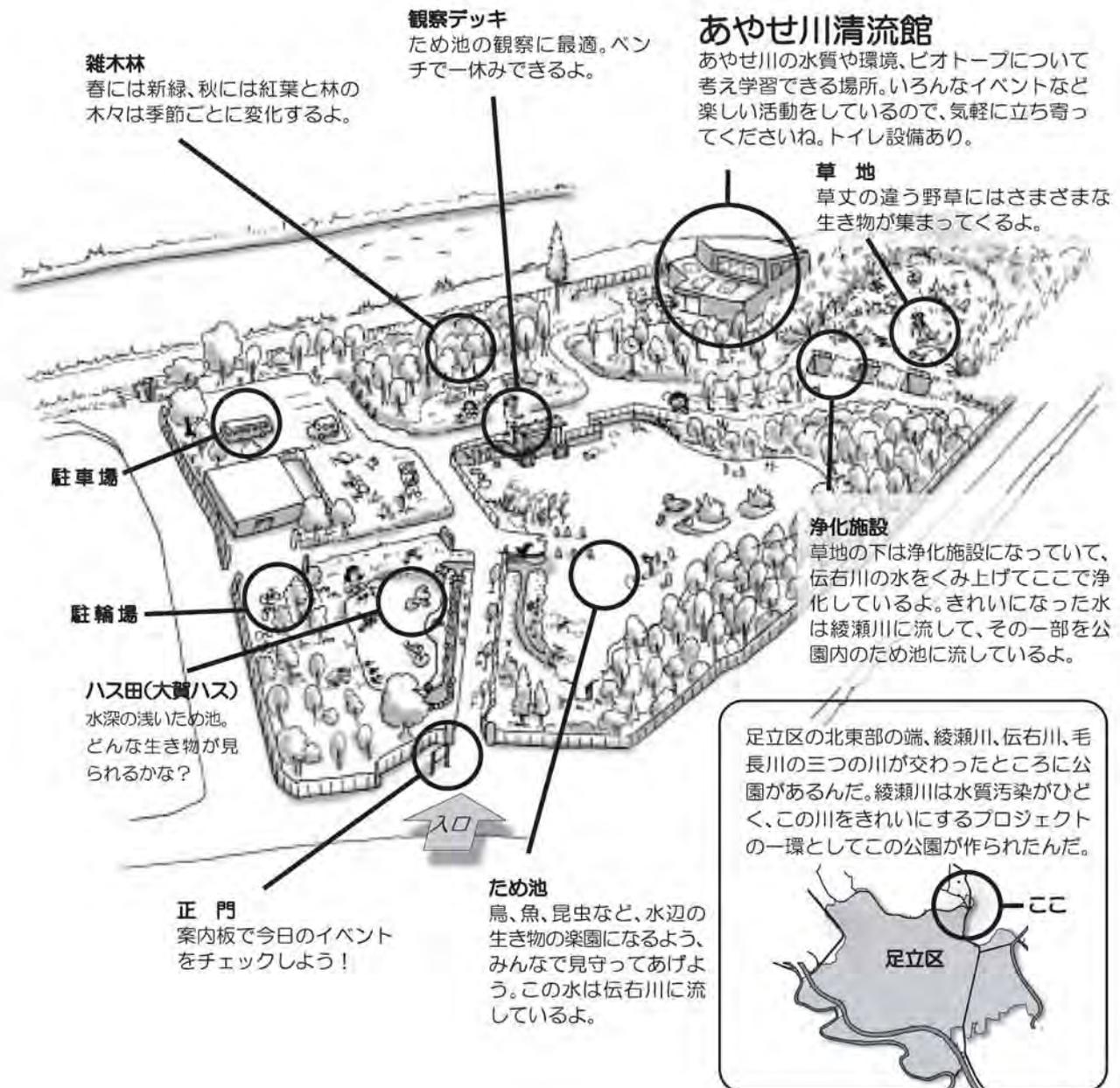


施設の紹介

- 名称** 桑袋ピオトープ公園
所在地 足立区花畑8-2-2
開園 2005年5月28日
規模 敷地面積／約1.3ha（公園／8,873㎡、桑袋浄化施設／3,705㎡、あやせ川清流館／370㎡）
 （植栽／約4,500㎡、ため池／約1,800㎡、はす田／約260㎡）
便益施設 便所／男子用立2和1、女子用和洋各1、身障者用洋1
 駐車場／普通車9台・身障者用2台（大型バス利用の際は要相談）
 水飲み場1基 足洗い場1ヶ所

あやせ川清流館

展示室／120㎡ 解説員コーナー、図書コーナー、展示コーナー
 セミナールーム42㎡（約50人収容）



太枠のみ記入をお願いします。

桑袋ビオトープ公園 団体申し込み書

申し込み日： 年 月 日 () 担当者： TEL カウンター

団体名：			
連絡先：担当者名			
住 所 〒			
電話番号		FAX	
e-mail/携帯			
活動内容：			
申し込み動機：			
利用日時： 年 月 日 ()			
時 分 ~ 時 分			
大型バス利用：		あり (台) なし	
参加人数： 合計 人			
大人		幼児	
小学生 (年生~		中・高校生 (年生)	
活動場所の希望： 室内 園内 河川敷			
解説内容の希望： 有 ・ 無			
綾瀬川		水質浄化および桑袋浄化施設	
あやせ川清流館の活動紹介		園内の自然	
桑袋ビオトープ公園の概要		ビオトープ	
雨天時の対応：			
特記事項：			
プログラム内容：			
担当者：			
準備物品：(園内施設の利用届確認含む)：			
実施確認：		実施 中止	
参加人数：		人 (年代構成：)	
		(地域構成：)	

連絡先：桑袋ビオトープ公園 解説員 足立区花畑8-2-2
Tel:03-3884-1021 Fax:03-3884-1041 9:00~17:00(11月~1月 9:00~16:30) 月曜休館

足立区提出	解説員確認 (チーフ・団体担当)	
/	/	/